



東方経済フォーラムニュース

東方経済フォーラム組織委員会は、スポーツ事業プログラムを紹介した。9月2・3日、フォーラム参加者のためにアヤックス湾で帆船レースが催され、3日には参加者自身も極東コーポレートゲームの一環として7種目の試合に加われる。

(タス通信)

600名以上が、東方経済フォーラムの枠内で9月2日主催されるアムールトラや極東ヒョウの保護を謳ったチャリテマラソンに参加する。ロスコングレス基金のG.ブリューソフ副理事が伝えたもの。マラソンのスタート合図の打ち役は、連邦大統領環境保護・輸送・観光特別代表のS.イワノフ氏が務める。

(タス通信)

沿海地方のV.ミクルシェフスキー知事によれば、東方経済フォーラムの枠内で同地方は50件の協定の調印を予定している。案件の内容は港湾施設の近代化、石炭・ガスターミナル、物流センター、魚類加工工場や観光施設の整備など。

(タス通信)

クネヴィチ国際空港は東方経済フォーラム準備・開催期間中、増強体制に入っている。追加スタッフが採用され、特殊機器や設備が揃えられている。空港ターミナルには参加者用の登録・認定手続き用のカウンターが設けられ、表示の充実など、ボランティアも活動中。

(リア・ノボスチ通信)

東方経済フォーラムの場で、カムチャツカ地方から紹介される新設養鶏場の稼働によって、当地方は新鮮鳥肉の輸入を停止し、完全自給率を果たせると、カムチャツカ地方のV.イリユーヒン知事が述べた。当事業への投資は17億ルーブルに上り、生産開始については2018年を目途にしている。

(REGNUM通信)

同フォーラムにはロシア連邦環境省からユニークなインターアクティブなプラットフォームである「保護される極東」が紹介される。ロシア連邦天然資源環境省のS.ドンスコイ相は、展示会に20件以上の環境保護関連事業についての資料が含まれることを明らかにした。環境の年と宣言された来年の主な事業やプログラムについての紹介のほか、極東の国立公園の観光地としての可能性についての資料も展示される。

カムチャツカ地方では、自由港の入居者企業として最初の3社が決まった。同地方のV.イリユーヒン知事は、近く3社との契約が結ばれることを明らかにした。地方主要都市のペトロパブロフスクでホテル、貨物ターミナルや魚類加工工場を建設する内容になることが見込まれている。

(「カムチャツカ半島」)